

京都府高校生短歌コンクール
くオリンピック・パラリンピック讃歌く

京都府教育委員会

オリンピック・パラリンピック讃歌

現代短歌の創作を通じた、京都ならではのスポーツと文化の融合
オリンピック・パラリンピックはスポーツの教育であるとともに文化の融合
である。
2020年7月に開催された東京大会は、新型コロナウイルス感染症拡大による
2020年9月に延期されたが、大会の発展に待たれた時間を無駄に、京都からス
ポーツと文化の融合の価値を再認識しようとするなど、大学や教育委員会、各
スポーツ系、市民、NPOなど多くの関係者から表現した「短歌」を広く京都
府内の高等学校・特別支援学校（以下「学校」）の生徒から募集した。
令和3年度には短期間で募集した。今年度は2020年〜2023年度の取
組があり、独自支援学校教育で、京都大学特任教授でもある歌人の尾田純氏に
より入賞作品を選定していただいた。
令和5年度のオリンピック・パラリンピック讃歌は、短歌コンクールのルールで
の募集要項を原則として、若い高校生が創意性による短歌創作を募集した。

掛軸制作
京都府立洛水高等学校
書道部

笛が鳴りノットに駆け出す足音を
近くて遠い此処から聴く

掛軸制作
京都府立鳥羽高等学校
書道部

スポーツの授業の後の掃除時間
みんなちがうユニフォーム着て

掛軸制作
京都府立山城高等学校
書道部

選りばりライブと応援する
とは技術の上達より難しい

京都府立
書道部

白息だけ切り取る二月

京都府立
書道部

おやーのライバルだけだよなのよ
君のことを心挫くという

京都府立
書道部

あけくさ 涙を流す

京都府立
書道部

掛軸制作
京都府立洛水高等学校
書道部

笛が鳴りコートに駆け出す足音を
近くて遠い此処から聴く

平成二十七年 最優秀作品
笛が鳴りコートに駆け出す足音を
近くて遠い此処から聴く

掛軸制作
京都府立鳥羽高等学校
書道部

スポーツの授業の後の掃除時間
みんなちがうユニホーム着て

平成二十八年 最優秀作品
スポーツの授業の後の掃除時間
みんなちがうユニホーム着て

掛軸制作
京都府立山城高等学校
書道部

選ばれたライバルを応援する
ことは技術の上達よりも難しい

平成二十九年 最優秀作品
選ばれたライバルを応援することは
技術の上達よりも難しい

掛軸制作
京都府立洛北高等学校
書道部

グラウンドで大きく息を吐く君の
白い息だけ切り取る二月

平成三十二年度 最優秀作品
グラウンドで大きく息を吐く君の
白い息だけ切り取る二月

掛軸制作
京都府立城陽高等学校
書道部

おかしなライバルだったはずなのに
君のことを応援している

令和元年度 最優秀作品
おかしなライバルだったはずなのに
君のことを応援している

掛軸制作
京都府立京都八幡
高等学校書道部

悔しくて涙を流す君の
負けたくないという
強さ

令和二年度 最優秀作品
悔しくて泣けたくなくて勝ちたくて
でも勝てなくて強くなっへへへ